

産業応用フォーラム開催のご案内
産業応用フォーラム「同期機の冷却方式」

概要：電力用同期発電機を中心に、同期機の冷却方式に関する技術動向、各種冷却方式の適用範囲、熱・温度・通風解析の実施例、冷却装置の保守に関する問題点などに関する最新技術を紹介いたします。

電力用発電機のような大形の電気機器を成立させるためには、高度な冷却技術が不可欠です。同期機の内部では銅損、鉄損、機械損等により発熱があり、この熱を常に冷却して絶縁物などの温度を限度以下に保つ必要があります。機器が大形化・大容量化すると表面積に対する内部発熱の割合が大きくなり、冷却が困難になります。同期機の冷却は、空気冷却から水素冷却、水冷却へと、また間接冷却から直接冷却へと進歩してきました。最近では逆に冷却方式の簡素化を求める傾向も見られ、また通風など冷却最適化の解析例、高熱伝導絶縁の採用等の材料・製造法の改善も報告されています。

本フォーラムは、「同期機の冷却方式調査専門委員会」（2008年9月～2010年8月）の調査結果に基づき、その委員を中心とした講師陣により、同期機の冷却方式、冷却方式の適用状況、冷却設計の諸元、冷却装置に関する保守点検、運転時の冷媒温度などについて講演します。同期機の保守や設計・製造にかかわる技術者、研究者、学生等の皆様を広く対象として、最新の技術動向を解説いたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時：2012年(平成24年)3月16日(金) 13:00～17:00

会場：東京市ヶ谷 電気学会 会議室

〒102-0076 東京都千代田区五番町6-2 HOMAT HORIZONビル8階

JR総武線(中央線各駅停車)、東京メトロ有楽町線・南北線、都営新宿線 市ヶ谷駅下車、徒歩2分

TEL: 03-3221-7313

プログラム：

- | | | | |
|------|-------------|------------------------------|----------------|
| (1) | 13:00-13:05 | 開会、主催者(山崎 克巳 回転機技術委員会 委員長)挨拶 | |
| (2) | 13:05-13:20 | 同期機の冷却とは | 高瀬 冬人(摂南大学) |
| (3) | 13:20-13:50 | 同期機の冷却方式の概要 | 中村 英之(東芝) |
| (4) | 13:50-14:20 | 同期機の冷却方式の適用状況 | 太田 伸也(明電舎) |
| (5) | 14:20-14:50 | 冷却のための通風(通水)構造とその進歩 | 前田 進(三菱電機) |
| | | 休憩 | |
| (6) | 15:10-15:40 | 温度・通風計算の理論と解析技術 | 坂本 織江(電力中央研究所) |
| (7) | 15:40-16:10 | 冷却に関する設計諸元の実態 | 木村 誠(富士電機) |
| (8) | 16:10-16:30 | 冷却装置の不具合とメンテナンス上の留意点 | 須加 泰臣(東京電力) |
| (9) | 16:30-16:50 | 総合討論 | |
| (10) | 16:50-16:55 | 閉会 | |

司会進行：田村 淳二(北見工業大学)・高瀬 冬人(摂南大学)

テキスト：電気学会技術報告1222号「同期機の冷却方式」をテキストとして使用します。

なお、希望者には特別価格(2,100円(会員)、2600円(非会員))；ただし、一般価格2,940円、一般会員価格2,352円)で頒布しますので、お申し込み時にその旨を記載ください。

参加費： 一般 会員¥5,000-(非課税) 非会員¥7,350-(消費税込) (テキストは含まれません)
学生 会員¥2,000-(非課税) 非会員¥2,500-(消費税込) (テキストは含まれません)

申込方法：○電気学会ホームページからのお申し込み：<http://www.iee.or.jp/forum.html>

お問合せ：摂南大学 高瀬 冬人 takase(at)ele.setsunan.ac.jp 【注(at)を@に置き換えて送信して下さい。】
電気学会 事業サービス課 e-mail：event(at)iee.or.jp 【注(at)を@に置き換えて送信して下さい。】

参加費支払い方法：参加費は、当日に現金でお支払い願います。領収書は、原則としてフォーラム当日の日付で会場渡しとなりますが、その他のご指示がある場合は申し込み時にご連絡ください。

主催：電気学会産業応用部門 回転機技術委員会(山崎 克巳 委員長)